

広島がん高精度放射線治療センター

広島がん高精度放射線治療センター（HIPRAC：ハイブラック）は、広島県が設置し、一般社団法人広島県医師会が運営する医療機関（通院のみ）です。
広島大学病院、県立広島病院、広島市立広島市民病院、広島赤十字・原爆病院の連携・共同事業として、2015年10月1日から診療を開始しました。

※上記の4病院以外の医療機関からも患者紹介を受け付けています。

検査・診断

各医療機関の主治医が、がん患者さんの治療方針を決定します。

遠隔カンファレンスなどを通じて連携します。

放射線治療

広島がん高精度放射線治療センターが担当します。

治療情報についても共有します。

経過観察

各医療機関の主治医が、治療効果と副作用を確認します。

HIPRACの放射線治療装置の紹介

当センターは、広島県で唯一、3台の放射線治療装置を導入し、部位や疾患に応じて使い分けています。
“がん医療をより高度により優しく”を理念に、患者さんにより良い放射線治療を受けていただくために最善の方法を提供します。

Vero(ヴェロ)4DRT



三菱重工製の治療装置で、リングガントリー構造により、治療台を動かすことなく多方向から高精度な照射を行うことが可能です。

TrueBeam(トゥルービーム)



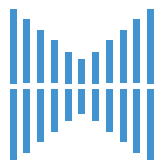
米バリアン社製の治療装置で、放射線を照射する速さが従来の2～3倍で、短時間での高精度放射線治療が可能です。

TrueBeam(トゥルービーム)STx

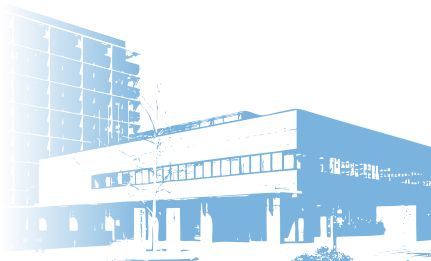


米バリアン社製の治療装置でTrueBeamより小さな照射野形成が可能で、定位放射線治療（＝ピンポイント照射）を得意とします。

がん医療を
より高度に
より優しく

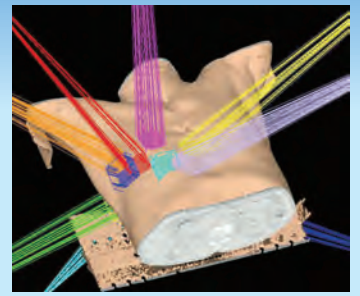


HIPRAC
Hiroshima High-Precision Radiotherapy Cancer Center
広島がん高精度放射線治療センター|ハイブラック



Q 高精度放射線治療って何？

A 転移性脳腫瘍や肺がん、肝臓がんなどに対して、高い放射線量をピンポイントに照射する「定位放射線治療」や、がんの回りにある正常臓器の被ばくを可能な限り低減し、がんだけにできるだけ高い放射線量を集中させる「強度変調放射線治療」などの技術を総称して高精度放射線治療といいます。



- ◆がんの治療法には、外科療法、化学療法、放射線治療があります。
- ◆放射線治療は体にメスを入れることなく、がん治療ができるので、年齢や持病のため、手術ができない場合でも有効な治療です。

Q HIPRACで放射線治療を受けるには？

- A
- ① まずは各医療機関の主治医にご相談ください。
 - ② 主治医が高精度な放射線治療が必要かを判断します。
 - ③ 各医療機関より、HIPRACへご紹介いただきます。

※当センターには入院設備がないため、通院治療ができる方が対象となります。

- ◆放射線治療は1日1回の治療が、小さな肺がん・肝臓がんの場合は4～8回、転移性脳腫瘍の場合は3～10回、前立腺がんの場合は37～39回必要です。
- ◆HIPRACで治療が終わりましたら、ご紹介いただいた各医療機関の主治医にて経過観察をします。

治療料金

健康保険が適用されます。

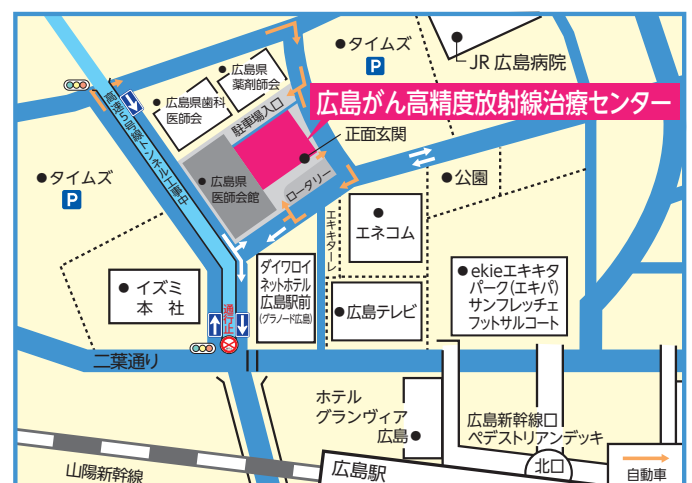
高額療養費の対象となりますので、お手続きいただくと各月の負担額に上限が設定されます。

交通のご案内

JR広島駅・新幹線口から徒歩5分。

駐車場のご案内

地下の駐車場をご利用ください(患者さんは無料)。



お問い合わせ

広島がん高精度放射線治療センター

〒732-0057 広島市東区二葉の里三丁目2番2号

URL: <https://hiprac.jp>

TEL.082-263-1330 (代表) TEL.082-263-1314 (事務ダイヤルイン)

FAX.082-263-1331



ハイブラック

